

# 令和2年度 第1回日向市地域防災計画改定検討委員会

令和2年8月18日(火)15:00～  
災害対策本部室

## 1 開会のことば

## 2 報告事項

- (1) 令和元年度の災害記録
- (2) 令和元年度中に締結した防災に関する連携協定
- (3) 地区防災計画の策定状況
- (4) 令和元年度地域防災訓練実施状況
- (5) 日向市自主防災会連絡協議会
- (6) 避難施設の整備状況 【別紙1】
- (7) 防災情報配信サービスの登録状況
- (8) ハザードマップ作成状況
- (9) 災害用ハッシュタグ「#日向市災害」運用開始
- (10) 災害用備蓄の状況
- (11) 令和2年度の風水害時の避難場所

## 3 協議事項

### (1) 日向市地域防災計画の改定について

- ① 南海トラフ地震被害想定の変更 【別紙2】【別紙9】
- ② 宮崎県地域防災計画の改定内容の反映 【別紙2】
- ③ 関係機関等からの変更 【別紙2】
- ④ 指定緊急避難場所の設定 【別紙3】
- ⑤ 避難確保計画の要配慮者施設一覧 【別紙4】

### (2) 日向市国土強靱化地域計画の策定について 【別紙8】

## 4 令和2年度の事業等について

- (1) 感染防止対策用物資の購入及び避難所運営訓練について 【別紙5】
- (2) 衛星安否確認サービス「Q-ANPI」の通信端末配備 【別紙6】
- (3) 市総合防災訓練の実施 【別紙7】

## 5 今後のスケジュール

日向市防災会議 令和2年8月25日付で書面決議用の資料を各委員に送付

## 6 閉会のことば

## 2 報告事項

### (1) 令和元年の災害記録

#### 【 5月19日大雨 】 令和元年5月19日～20日

- ・災害警戒本部 5/20 4:45 設置、14:10 縮小
- ・市沿岸部を中心に雨が降り続き、5/20に「土砂災害警戒情報」発表

#### 【 7月3日梅雨前線による大雨 】 令和元年7月2日～4日

- ・災害警戒本部 7/3 9:00 設置、23:17 縮小
- ・市内全域に「避難準備・高齢者等避難開始」発令
- ・避難所開設 20 箇所 48 世帯 62 人

#### 【 台風5号 】 令和元年7月20日～21日

- ・情報連絡本部 7/20 12:15 設置、7/21 10:25 縮小
- ・東郷7地区に「避難準備・高齢者等避難開始」発令
- ・避難所開設 1 箇所 避難者 0
- ・道路冠水(幡浦地区)

#### 【 台風8号 】 令和元年8月5日～6日

- ・災害対策本部 8/5 22:00 設置、8/6 11:02 縮小
- ・市内全域に「避難準備・高齢者等避難開始」発令
- ・避難所開設 17 箇所 45 世帯 54 人
- ・停電 1840 戸
- ・倒木 2 件
- ・東九州自動車道 日向 IC～清武南 IC 通行止め

#### 【 台風10号 】 令和元年8月13日～15日

- ・災害警戒本部 8/14 18:00 設置、8/15 6:52 縮小
- ・市内全域に「避難準備・高齢者等避難開始」発令
- ・避難所開設 16 箇所 59 世帯 79 人

#### 【 令和元9年月28日大雨 】 令和元9年月28日

- ・情報連絡本部 9/28 11:04 設置、9/28 16:25 縮小
- ・道路冠水(高見橋通／西草場／亀崎／富校前／旧お倉ヶ浜有料道路／R10 大王町～梶木)
- ・崩土 1 件

## 参考【 令和2年7月豪雨 】

- ・情報連絡本部 7/4 6:04 設置、7/4 11:50 縮小
- ・耳川流域に「避難準備・高齢者等避難開始」発令
- ・避難所2箇所開設 避難者0人
- ・崩土2件

本市において被害は少なかったが、熊本県の球磨川水系は、八代市、芦北町、球磨村、人吉市、相良村で氾濫・決壊。球磨村にある特別養護老人ホーム「千寿園」では入所者14人が死亡。芦北町や津奈木町でも土砂崩れによる死者が出た。

人吉市では市街地の広範囲が浸水し、過去の水害よりも高い位置まで浸水した。八代市坂本町中心部では住宅に流木や土砂が流れ込むなどの甚大な被害が出た。

福岡県大牟田市では、指定避難所の小学校が浸水により孤立。体育館や校舎1階では危険なため、上階へ避難した。生徒や地域住民は孤立したまま夜を過ごした。

○本市から熊本県に対しての支援

- ・八代市へ飲料水2ℓを1,200本配送
- ・芦北町へ被災家屋調査として職員1名を1週間派遣。
- ・芦北町へ災害ごみの収集のために職員4名を派遣。現在も継続して派遣中。

(2) 令和元年度中に締結した防災に関する連携協定

No.	協定等名称	協 定 先	協 定 内 容	締 結 日
1	災害時における救援物資提供に関する協定書	高原ミネラル株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害対応型自動販売機内の商品の無償提供</li> <li>商品の優先的な安定供給</li> </ul>	平成 31 年 4 月 1 日
2	災害時における救援物資提供に関する協定書	株式会社アペックス西日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害対応型自動販売機内の商品の無償提供</li> <li>商品の優先的な安定供給</li> </ul>	平成 31 年 4 月 1 日
3	防災行政無線を活用した犯罪発生情報の提供に関する覚書	宮崎県日向警察署	<ul style="list-style-type: none"> <li>犯罪発生情報の提供及び注意喚起を行う際に、防災行政無線の活用</li> </ul>	令和元年 9 月 19 日
4	災害時における電力復旧に関する覚書	九州電力株式会社日向配電事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害復旧活動上の重要施設への優先した送電</li> <li>緊急時の発電機車の設置</li> </ul>	令和元年 11 月 11 日
5	災害に係る情報発信等に関する協定	ヤフー株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害発生時に日向市ホームページのアクセス負荷の軽減</li> <li>防災情報等をヤフーサービス上に掲載</li> </ul>	令和元年 12 月 5 日
6	大規模災害時における被災建物の解体撤去等に関する協定書	宮崎県解体工事業協同組合	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時の被災状況に関する情報収集及び報告</li> <li>応急活動に支障となる建築物等の除去及び解体</li> <li>災害廃棄物の撤去</li> </ul>	令和 2 年 3 月 5 日

(3) 地区防災計画の策定状況

平成 31 年 4 月に長江区が策定

区名	着手年度	策定年度
公園通り区	平成 29 年度	平成 29 年度
曙区	平成 30 年度	平成 30 年度
長江区	平成 27 年度	令和元年度
福瀬区	平成 28 年度	作成中
堀一方区	平成 28 年度	作成中

(4) 令和元年度地域防災訓練実施状況

実施主催	区	学校	病院・福祉施設	事務所	その他	合計
件数	20 件	16 件	21 件	8 件	4 件	69 件
参加人数	925 人	4,033 人	1,338 人	579 人	1,699 人	8,574 人

## (5) 日向市自主防災連絡協議会

- ・ 総 会 令和元年 5 月 29 日
- ・ 理事会 第 1 回 H31/4/23 第 2 回 R1/5/17 第 3 回 R1/8/8
- ・ 資器材整備

コミュニティ助成事業 地域防災組織育成助成事業（自主防災組織育成）10/10 補助

発電機	13	西川内区、中原区、新財市区、往還区、向洋台区、亀崎中区、亀崎東区、向江町区、日向台区、花ヶ丘区、笹野西区、新町区、駅通り区
水中ポンプ	1	高見橋通り区
折畳車椅子	1	公園通区
ショルダー型メガホン	1	迎洋園区
充電式防滴メガホン	1	地藏区
消防ホース関連資材	1	立縫区
チェーンソー	1	寺迫区

宮崎県自主防災組織育成助成事業 1/2 補助、上限 3 万円

チェーンソー	2	秋山区、寺迫区
--------	---	---------

## (6) 避難施設の整備状況

- ・ 松原区避難山、美砂避難タワー、往還2号避難タワー 完成

## (7) 防災情報配信サービスの登録状況 7/29 時点 ( )は昨年度の数値

登録者 1723 人(1541 人) [内訳] 住民 1084 人(903 人) 職員 639 人(638 人)

- ・ メール登録 1594 件(1384 件) ・ 電話登録 132 件(117 件) ・ FAX 登録 4 件(5 件)

## (8) ハザードマップ作成状況

- ・ ウェブ版 令和 2 年 3 月作成、同月公開 (<https://www.hyugacity.jp/hazardmap/>)
- ・ 日向市防災ハザードマップ (洪水・土砂災害) 令和 2 年 3 月作成、6 月配布  
平成 20 年度作成の更新版であり、最新の避難所情報、想定最大規模の洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域を掲載
- ・ 日向市津波ハザードマップ (簡易版) 令和 2 年 3 月作成、6 月配布  
平成 24 年度作成の追加版であり、最新の津波避難場所、南海トラフ地震臨時情報と防災対応の流れ、津波浸水 30 分以内 30cm 以上想定区域、津波警報等のサイレンパターン・メッセージ内容を掲載

## (9) 災害用ハッシュタグ「#日向市災害」運用開始

令和元年 9 月、災害情報収集の手段として SNS を効率的に活用するため、ツイッターにおける「日向市災害用ハッシュタグ運用基準」を定めた。

ツイッター利用者が「#日向市災害」を付けてツイート（投稿）することにより、被災状況（道路の冠水、倒木等）に関する情報の検索が容易になり、市災害対策本部のみならず、どなたでも市内の災害情報を効率的に収集することができる。

なお、今年度は、日向市消防団が公式のツイッターアカウントを開設したことから、「#日向市災害」を利用した災害情報発信に取り組むことになった。

## (10) 災害用備蓄の状況

令和2年4月1日現在

区分	品目		備蓄目標数量				現物備蓄量		
		内訳			現物備蓄目標			備蓄率	
食料品等	食料（主食） ※アレルギー対応・要配慮者向け含む	アルファ化米	95,219	食	71,414	食	29,100	食	50.5%
		クッキー					4,840	食	
		ビスケット					2,100	食	
	粉ミルク	粉ミルク	49,231	g	36,923	g	36,000	g	97.6%
		粉ミルク（アレルギー対応）	5,470	g	4,102	g	6,400	g	156.1%
	飲料水	2ℓ入り	96,000	ℓ	72,000	ℓ	24,600	ℓ	47.3%
490ml入り		9,408					ℓ		
生活必需品	毛布		16,000	枚	12,000	枚	752	枚	6.3%
	紙オムツ	乳児用	9,900	枚	7,425	枚	0	枚	0.0%
		大人用	6,490	枚	4,867	枚	96	枚	2.0%
	女性用品		14,410	枚	10,807	枚	15,212	枚	140.8%
	ほ乳ボトル		391	本	293	本	200	本	68.3%
	トイレットペーパー		3,000	巻	2,250	巻	3,124	巻	138.9%
	汚物処理袋（簡易トイレ用）		229,760	枚	172,320	枚	24,500	枚	14.3%
	マスク		48,000	枚	36,000	枚	0	枚	0.0%
	ボディタオル		48,000	枚	36,000	枚	974	枚	2.8%
	ウエットタオル		48,000	枚	36,000	枚	16,800	枚	46.7%
	ごみ袋		48,000	枚	36,000	枚	0	枚	0.0%
飲料水袋※	給水袋（6ℓ用）		23,400	袋	7,877	袋	33.7%		
	バルーン（1,000ℓ用）		25	基	12	基	48.0%		
避難所用資器材	炊き出し用釜				29	基	9	基	31.0%
	カセットコンロ				4	台	0	台	0.0%
	カセットガス				12	本	0	本	0.0%
	鍋				4	個	0	個	0.0%
	発電機				13	基	3	基	23.1%
	携行缶（発電機燃料用）				26	個	0	個	0.0%
	投光機				13	基	0	基	0.0%
	コードリール（50m）				26	個	0	個	0.0%
	ターピーシート（5.25×5.3m）				65	枚	12	枚	18.5%
	間仕切り	ダンボール		14,646	室	20	室	0.1%	
		カーテン		771	室	100	室	13.0%	
		テント				0	室		
	マット（間仕切り用）			1,542	枚	128	枚	8.3%	
	救急箱			13	箱	0	箱	0.0%	
簡易トイレ			156	基	95	基	60.9%		
簡易テント			156	張	50	張	32.1%		

※網掛けセルは今年度購入予定の備蓄品

※備蓄品購入に併せ、財光寺中学校に備蓄倉庫（R2設計委託、R3工事）を整備予定

## (11) 令和2年度の風水害時の避難場所

本市では、洪水浸水想定区域の見直し（百年に一度のL1クラスから、千年に一度のL2クラスへ変更）や、土砂災害警戒区域の設定により、危険な区域を避けた避難所は限られることになったため、下記の施設を指定緊急避難場所とする。

一方で、新型コロナウイルス感染予防において、避難場所での密を避けるため、自宅が安全な場所の場合の在宅避難や、災害の危険性のない親戚や知人宅等への避難などの分散避難を周知している。

### 1 当初に開設予定の避難場所（12か所）

過去の避難者実績や地域性等を考慮して設定（区長公民館長へ通知 R2/6/1 付）。

①中央公民館、②日向中学校、③農村交流館、④日知屋公民館、⑤大王谷コミュニティセンター、⑥細島公民館、⑦財光寺南小学校、⑧南日向公民館、⑨美々津公民館、⑩寺迫国民体育館(寺迫小学校体育館)、⑪東郷学園、⑫牧水公園ふるさとの家

※ 各避難場所での受付時において、発熱や体調不良の方がいた場合には、別途、市が準備する施設に移動していただく。

### 2 増設予定の避難場所（10か所）

気象庁が「特別警報」級の大雨予想をした場合は、避難者が殺到することが予想されるため、感染症予防の観点から増設する。

⑬富高小学校、⑭富島中学校、⑮細島小学校、⑯財光寺小学校、⑰平岩小中学校、⑱美々津小学校、⑲大工野地区集落センター、⑳東上地区コミュニティセンター、㉑田野区公民館、㉒越表区公民館

### 3 自主避難所開設への新たな動き

自治会(区)が地域内の事業所等と交渉し、災害時の施設利用の覚書を締結した。市は締結までの手続きと市備蓄品の配備などを支援

- ・ 田の原区－社会福祉法人中心の里
- ・ 小野田区－和光コンクリート工業株式会社

(参考) 市が避難勧告等を発令する場合は、立退き先として指定緊急避難場所を指示（災害対策基本法第60条第2項）となっており、安全が確保されれば車中泊でも可能であることも周知している。

## 指定緊急避難場所と指定避難所の違い

